

教員おすすめ図書コーナー推薦書

教 員 氏 名	
新田 さやか 先生	おすすめメッセージ
① 図書名：どうすればよかったか？ 著 者：藤野知明 出版社：文芸春秋 ISBN：9784163920641	この本は、著者であり映画監督の藤野知明さんが、自分の家族を記録した映像作品（2024 年 12 月から各地で上映されました）がもとになっています。 藤野さんが高校 2 年生の時、当時医学部に通っていたお姉さんが突然叫び出し、救急車で精神科に運ばれました。それ以降、藤野さんのご両親は調子が悪くなるお姉さんを自分たちだけで何とかしようと、一生懸命にお姉さんと時間を過ごされました。でも、結果的に、お姉さんを家に閉じ込めるような状況にまで陥ってしまいました。最初に急性症状が現れてから 25 年後、お姉さんは精神科の受診につながり、統合失調症と診断を受けて、入院治療にたどり着きました。娘は病気ではない、と考える両親に対し、お姉さんのことを「どうにかしなければ」と思い家族を記録し続けた藤野さん。 本を読みながら、お姉さんの人間としての尊厳をどうにかして取り戻そうとする藤野さんの想いが伝わってきました。「どうすればよかったか？」という藤野さんの問いを受け取って、考えてみてほしい、読んでいただきたい 1 冊です。
② 図書名：児童養護施設という私のおうち 一知ることからはじめる子どものためのフェアスタートー 著 者：田中れいか 出版社：旬報社 ISBN：9784845117314	著者の田中れいかさんは、7 歳から 18 歳まで児童養護施設で生活していました。この本は、れいかさんの、一人でも多くの人に社会的養護について関心をもってもらいたい、児童養護施設で暮らす子どもたちのことを知ってもらいたい、という熱い思いから生まれたものです。 れいかさん自身のライフストーリーをたどりながら、施設に入所することになった背景、施設での暮らし、学校生活、アルバイトのこと、家族のこと、施設を巣立った後の一人暮らし、社会的養護の下で育った当事者としてのスピーカーの活動などがまとめられています。れいかさんは「生い立ち関係なく誰でも好きな自分になれる」社会をつくろうと、児童養護施設で暮らす子どもたち、巣立った若者たちを応援する活動を地道に続けてこられています。この本を読むことは、かれらの存在に気づき、知るというアクションにつながります。 大学で学ぶ皆さんに、ぜひ、読んでいただきたい本です。